

鹿児島地本だより

第51号
(令和7年夏号)

発行元 自衛隊
鹿児島地方協力本部

印刷所
株式会社鹿児島新生社印刷



本部長のご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部長
1等海佐 川畑 信一

本年四月二十五日付で自衛隊鹿児島地方協力本部長に就任しました川畑一佐です。平素より、防衛協会、自衛隊家族会、隊友会、地本後援会、就職援護協会などの各協力団体及び企業主、募集相談員などの皆様におかれましては、自衛隊鹿児島地方協力本部に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和六年度の募集業務においては、延べ千十名の受験者、総勢二百五十名の入隊・入校者を獲得することができました。募集種目別では、一般幹部候補生、一般曹候補生及び予備自衛官補について、目標数に及ばなかったもののその他の種目については、概ね目標を達成することができました。就職援護業務においては、定年制、任期制ともに就職援護率100%を達成するとともに、予備自衛官等の業務においては充足目標・訓練出頭率、即応予備自衛官の採用目標を達成することができました。

これらも偏に皆様のご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、現在、我が国を取り巻く安全保障環境はますます厳しさを増しており、周辺諸国の軍事力の更なる強化や軍事活動の活発化の傾向が顕著になっていきます。このような情勢の中、防衛省・自衛隊が各種任務を適切に遂行するためには、少子化による募集対象者人口の減少、熾

烈な人材獲得競争という厳しい募集環境の中にあっても、優秀な人材を安定的に確保していかなければなりません。

令和七年度の募集状況は、昨年引き続き、類を見ない少子・高齢化は自衛官等募集に多大な影響を与え、この情勢が改善する見込みは今のところございません。また、退職予定隊員の就職援護においては、雇用情勢が好転しているとはいえ、退職者の希望に沿った就職の援助には粘り強い調整や折衝が必要となり、さらに、予備自衛官等の確保についても引き続き厳しい状況が予想されます。

そのような状況の中にあっても、自衛隊鹿児島地方協力本部は、「自衛隊を支える良質な隊員を獲得する」「優良な就職援護先を獲得する」「予備自衛官等を確保する」ことにより、国民の負託に応えることが求められております。

着任時に私の要望事項としてあげた「誠実に職務を遂行すること」「対象者・その家族に対して誠実であること」「社会人として誠実であること」の三点を軸にし、部員一丸となって職務に邁進して参りますので、今後とも我々の諸活動に対してご理解いただきまして、更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和七年度募集・援護出陣式



自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和七年五月九日(金)、「令和七年度募集・援護出陣式」を実施した。

本出陣式の目的は、令和七年度の募集・援護及び予備自衛官等業務のスタートにあたり、地本としての任務、各種目標の達成及び一年を通じての安全を祈願するとともに、部員全員の士気の高揚及び団結の強化を図ることにある。

出陣式に際し、自衛隊鹿児島地方協力本部後援会副会長兒玉健二郎様並びに有村長藏様のご臨席を賜り、過分なるご祝辞を頂戴して、部員一同、更に身を引き締めた。

本部長は、「自衛隊鹿児島地方協力本部は、本部後援会をはじめとする関係協力諸団体、自治体、学校、募集対象者及びその保護者、雇用企業等、自衛隊鹿児島地方協力本部の任務達成に欠かすことができない方々のご格別のご支援・ご協力を賜りながら各種業務に取り組み所存であります。部員においては勤務方針を念頭におき、一人一人が任務達成のために何をすべきかを考えながらそれぞれの業務に取り組んでもらいたい。」と部員に訓示した。

最後に令和七年度の募集・援護の目標達成を祈願して恒例のダルマの目入れを行い、部員全員が令和七年度の目標達成に向けて、決意を新たにしました。

募集課 企画班 **～陸上自衛隊の魅力発信～**
第8師団創立記念行事総合予行募集ツアー参加

令和7年4月12日（土）北熊本駐屯地（熊本市）において実施された第8師団創立記念行事総合予行募集ツアーに参加した。

本ツアーは、陸上自衛隊第8師団が主催し、募集対象者及び保護者等に対して行った募集広報であり、鹿児島地方協力本部からは、陸上自衛隊に興味がある親子連れや募集対象者等12名が参加した。

訓練場において実施された観閲式予行や音楽演奏を観覧し、最後に行われた模擬戦闘訓練では実戦さながらの展示が実施され、戦車による空包射撃を実施した際には、参加者を大いに賑わせた。

その他、戦車や装輪装甲車等の体験試乗では、普段乗ることのない装備品に実際に試乗し、自衛隊に対する理解及び隊員に対する親近感を獲得することができた。

参加者からは、「普段体験できないことが経験でき、楽しかったです。」「陸上自衛隊をぜひ志願したい。」等、多数の感想をいただいた。



体験試乗の様子

募集課 広報班 **TH-135 体験搭乗を実施して**

令和7年4月5日（土）に、海上自衛隊鹿屋航空基地において、第211教育航空隊の支援を得て募集対象者等約20名に対する体験搭乗を実施した。

本体験搭乗は、募集対象者等に航空機に体験搭乗させることにより、自衛隊への理解の促進を図るとともに認知度向上を目的として実施した。

第211教育航空隊の担当者による、TH-135の任務・諸元等の概要説明及び安全教育の後、1機につき3名が搭乗し、そのうち1名はパイロットの横の席に乗るため、パイロットの操縦を間近で見ることができ、約20分のフライトは、鹿屋航空基地から錦江湾・鹿児島市上空を経由したものであった。

体験搭乗に参加した募集対象者からは「パイロットのリアルな機材確認や旋回、急降下時に体にかかる重力を体験出来て刺激的だった」や、中学生からは「僕もあんなかっこいい自衛官になりたい」など自衛隊へ興味・関心が高くなったとの感想を多くいただいた。



搭乗中の様子

総務課 企画班 **令和7年度**
鹿児島県総合防災訓練に参加して

自衛隊鹿児島地方協力本部総務課企画班は、令和7年5月25日（日）鹿児島県薩摩郡さつま町で実施された「令和7年度鹿児島県総合防災訓練」に参加した。

本防災訓練は、鹿児島県地域防災計画・さつま町地域防災計画に基づき大雨・洪水・地震等の災害発生に際し、防災関係機関が相互に緊密な連携を保ちながら情報連絡、伝達、救出、救護、避難誘導及び災害復旧等の防災体制の確立と県民の防災意識の高揚を目的として、鹿児島県内の94団体の防災関係機関が参加した。

自衛隊鹿児島地方協力本部は、来場者に対する防災意識の啓発を目的として「平成18年7月豪雨（さつま町）」の災害派遣活動状況のパネル及び非常用糧食・戦闘糧食Ⅱ型の展示を、また、第12普通科連隊と連携して装備品展示（高機動車、軽装甲高機動車、1/2tトラック）を開設するとともに、関係機関との連携強化及び災害対処能力の向上を図り、地域住民の防衛省・自衛隊への理解を深めた。

災害派遣活動パネルを見学した地元住民の方から、「当時は、防災意識が低かったが、この災害以降、防災を意識するようになった。パネルを見て改めて助けてもらった自衛隊の皆さんには感謝する。」等の感謝の言葉をいただいた。



非常用糧食展示コーナーの様子



県知事に説明する様子

装備品展示コーナーの様子

国分地域 事務所 **広報官発案、公務員合同ガイダンス**

令和7年3月17日（月）、市立国分中央高校（霧島市）で実施された公務員合同進路ガイダンスに参加した。

国分中央高校は、平素から学校長をはじめ全職員から自衛隊の活動に対し深く理解をいただいており、令和5年度には、西部方面総監感謝状を受賞する等、自衛隊との信頼関係も強固なものである。しかしながら、昨年度及び今年度については、志願者が減少したことから、担当する広報官が、平素から強い信頼関係を構築している進路指導教諭と連携を図り、公務員を目指す生徒に対する説明会はできないか調整したところ実現に至ったものであり、自衛隊の他、警察、市役所が参加した。

自衛隊ブースに訪れた1・2年生10名に対し、自衛隊の役割、活動内容、陸・海・空の各職種、魅力ややりがい、処遇及び勤務環境の改善などを親近感が湧くように気さくに説明し、崇高な任務を持つ自衛隊の職業観及び魅力を最大限アピールすることができた。

ブースに訪れた高校生からは、「陸・海・空自衛隊の役割と魅力について理解できて、今後の職業選択に活かしていきたいです。」「国や国民の安心・安全を守るという本来の役割がとても誇らしい仕事だということがわかりました。」「部活動はしてないのですが、やっていただけますか。」「部活の先輩が入隊したので、興味があります。」「処遇と勤務環境の改善にとっても魅力を感じました。」など多くの感想と質問があり、中には、「部活動で銃剣道をしているので、自衛隊に入隊して活かしたいです。」と決意表明する生徒も見られた。



自衛隊ブースの様子

援護課 予備自衛官班 **予備自衛官5日間招集訓練**

令和7年5月15日（木）から19日（月）の間、健軍駐屯地において西部方面衛生隊が担任実施する予備自衛官招集5日間訓練に鹿児島地本から7名の予備自衛官が参加した。

本訓練では、予備自衛官としての基本的な訓練に加え、救急法、天幕展張（野外衛生施設の開設）、患者搬送、患者処置（野外手術システムによる患者治療）等、衛生科職種に特化した職種訓練が行われ、各地本から医師、歯科医師又は看護師等の資格・経験をもつ衛生職種の技能予備自衛官、計52名が出頭し、衛生科隊員として必要な戦傷治療等に関する知識・技能の修得及び練度維持を図った。

参加した隊員の多くは、日頃、病院等で勤務する医師や看護師であり衛生に係る専門的な訓練に対する熱意や災害派遣への意識が非常に高く感じられ、今後も本業との両立に努めつつ、さらなる活躍が期待できる。

参加した隊員からは、「訓練では時間をもて余すことなく、充実した計画と効率化された運用が行われ、民間で働く自分にとって大変勉強となった。自分達で野外病院を展開して、傷病者に対して実践的な対応を現職隊員とともに考えながら訓練ができた。」との所感を述べており、今後の活躍が期待できる。

自衛隊鹿児島地方協力本部予備自衛官班は、今後も訓練部隊と連携を取りつつ、地域と自衛隊の架け橋となる予備自衛官の出頭環境の醸成に邁進する。



援護課 援護企画班 **「令和7年度キャリアアップセミナー」を実施して**

自衛隊鹿児島地方協力本部援護企画班は、令和7年5月20日（火）国分駐屯地においてキャリアアップセミナーを実施した。

本セミナーは、早期離職対策として令和7年度から新たに企画したもので、任期制隊員及び若年定年隊員に対して再就職の際に必要な知識の付与を目的とし、合同企業説明会参加に向けての準備・心構えを教育した。

この際、OB講話及び参加企業による企業説明を通じて希望職種の拡大及び業種選択の資とさせるとともに再就職準備の万全を図った。

参加者数は、任期制6名、定年制20名、研修参加隊員22名の総数48名で、実施場所となった国分駐屯地大隊教場は満席となった。

OB講話では、(株)にしけい 人事担当部長 壇 雅昭氏による題目「充実した新たな人生に向けて～再就職先の選定と離職回避の観点から～」を聴講し、人生を充実させるため退職後の再就職先選定と離職回避について考える良い機会となった。

また、参加企業は日本郵便輸送(株)、(株)南電工、加治木産業(株)、鹿児島総合警備保障(株)の4社で各種業種の説明があり再就職後のイメージアップに繋がった。

参加隊員からは、「OB体験談のほか興味のある業種の説明を聞くことができ非常に参考となるセミナーとなった。」等、多数の感想をいただいた。



OB講話の様子

各種業種説明の様子

各所・センターの話題

鹿児島地本各所・センター一丸となった、各地域での活動をご覧ください。

徳之島駐在員事務所

水中処分母船6号
亀徳港一般公開



奄美大島駐在員事務所

名瀬中学校
奄美警備隊職場体験



種子島駐在員事務所

南種子町キッズフェスタ
まもる君じゃんけん大会



国分地域事務所

重富中学校
職場体験学習



鹿児島募集案内所

サバゲーイベント
格闘展示



大隅地域事務所

志布志お釈迦祭り
市街地広報



知覧分駐所

川辺二日市
市街地広報



薩摩川内出張所

各種イベント
リクルーター大活躍



鹿屋地域事務所

第25回 エアーマモリアル
in かのや



国分駐屯地援護センター

若年定年制就職補導教育
及び陸士就職補導教育



川内駐屯地援護センター

川内駐屯地
就職補導教育



鹿児島地域援護センター援護班

防衛協会青年部
部隊見学支援



令和7年度鹿児島県自衛隊広報大使



シンガーソングライター
Yoko*



鹿児島フリータレント
山口ひかり



がんばるあなたの応援団！
じゃんけんマン



モデル
斎藤奈菜香



鹿児島のヒーロー
薩摩剣士隼人



走る冒険家
岩元みさ



令和7年4月10日鹿児島第2地方合同庁舎において「鹿児島県自衛隊委嘱式」が行われ、6名の方々が委嘱されました。今年度も、6名それぞれのお力をお借りして募集につながる各種行事を企画・調整を進めていきます。

令和6年度広報大使活動報告



テレビ告知・イベント司会
といえば山口ひかりさん♪



Yoko*さん・じゃんけんマン
川内駐屯地記念行事の会場は
歌とダンスで大盛り上がり♪



斎藤奈菜香さん
鹿地本ポスター



薩摩剣士隼人 vs まもる君
自衛隊みなと祭りじゃんけん大会



PONちゃん南極マラソン完走
日本人最高位22位

人事往来

【転出者】

自衛官

1等海佐 松浦 幸一
呉教育隊司令(本部長)

2等陸佐 山崎 真一
西方總監部(募集課長)

3等海佐 中脇 淳裕
第2航空群(種子島駐在員事務所長)

1等陸尉 野田 健吾
高等工科学校(総務課)

1等陸曹 遠藤 貞治
第12普通科連隊(種子島駐在員事務所)

1等陸曹 内野 匠
西部方面情報隊(種子島駐在員事務所)

2等陸曹 山田 駿
西部方面システム防護隊(奄美大島駐在員事務所)

2等海曹 木浦 千賀子
小月教育航空隊(鹿屋地域事務所)

事務官等

自衛隊熊本地方協力本部(総務課長)

森 さおり
別府駐屯地業務隊(総務課)

細谷 孝行
防衛医科大学校(募集課)

阿部 清志
自衛隊熊本病院(総務課)

橋本 恵利子
自衛隊福岡病院(援護課)

和田 麻鈴
西部方面總監部(総務課)

【転入者】

自衛官
1等海佐 川畑 信一
本部長(舞鶴地方總監部)

2等陸佐 高倉 秀彦
募集課長(第9高射特科大隊)

3等海佐 龍野 真一
募集課(第211教育航空隊)

1等陸尉 田中 正文
総務課(高等工科学校)

1等陸尉 野里 康男
種子島駐在員事務所第113教育大隊

1等陸曹 吉田 勝実
総務課(第12普通科連隊)

1等陸曹 穂村 幸紀
鹿児島募集案内所(奄美警備隊)

1等陸曹 秋山 高広
薩摩川内出張所(第16普通科連隊)

2等陸曹 坂口 健志
薩摩川内出張所(第12普通科連隊)

2等陸曹 假屋 伸也
鹿屋地域事務所(第12普通科連隊)

2等陸曹 前田 章吾
徳之島駐在員事務所(奄美警備隊)

2等陸曹 濱崎 孝生
援護課(第15ヘリコプター隊)

2等海曹 津崎 玲子
鹿屋地域事務所(第1整備補給隊)

3等陸曹 古賀 友一郎
鹿児島募集案内所(第17普通科連隊)

事務官等

野中 勝彦
総務課長(自衛隊京都地方協力本部)

重本 忠
募集課(自衛隊鳥取地方協力本部)

園原 謙一
募集課(自衛隊宮崎地方協力本部)

佐藤 綾香
総務課(防衛大学校)

大城 倫則
総務課(自衛隊福岡病院)

【新規採用者】

大丸 彩乃(総務課)

【定年退官】

陸曹長 海老原 正視(総務課)

【任期満了退職者】

海士長 吉原 菊代(鹿屋地域事務所)

鹿児島地本 HP



鹿児島地本



自衛隊鹿児島地方協力本部 099-253-8920

事務所名	電話番号
薩摩川内出張所	0996-22-2401
鹿屋地域事務所	0994-42-4386
国分地域事務所	0995-45-1836
大隅地域事務所	099-482-1405
鹿児島募集案内所	099-251-7802

事務所名	電話番号
知覧分駐所	0993-83-1811
奄美大島駐在員事務所	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	0997-83-3080

陸海空自衛官募集

ここにしかない成長。
ここにしかない経験。

陸 海 空 自衛官